

議会だより

2018

No. 122

くらて

9月定例会号

十六神社のクスノキ

おもな
内容

P2

平成 29 年度決算を認定

P6

平成 30 年度一般会計補正予算

P9

知りたいこと望むこと～5人が一般質問～

P15

第8回臨時会

チェック!!

9月
議会

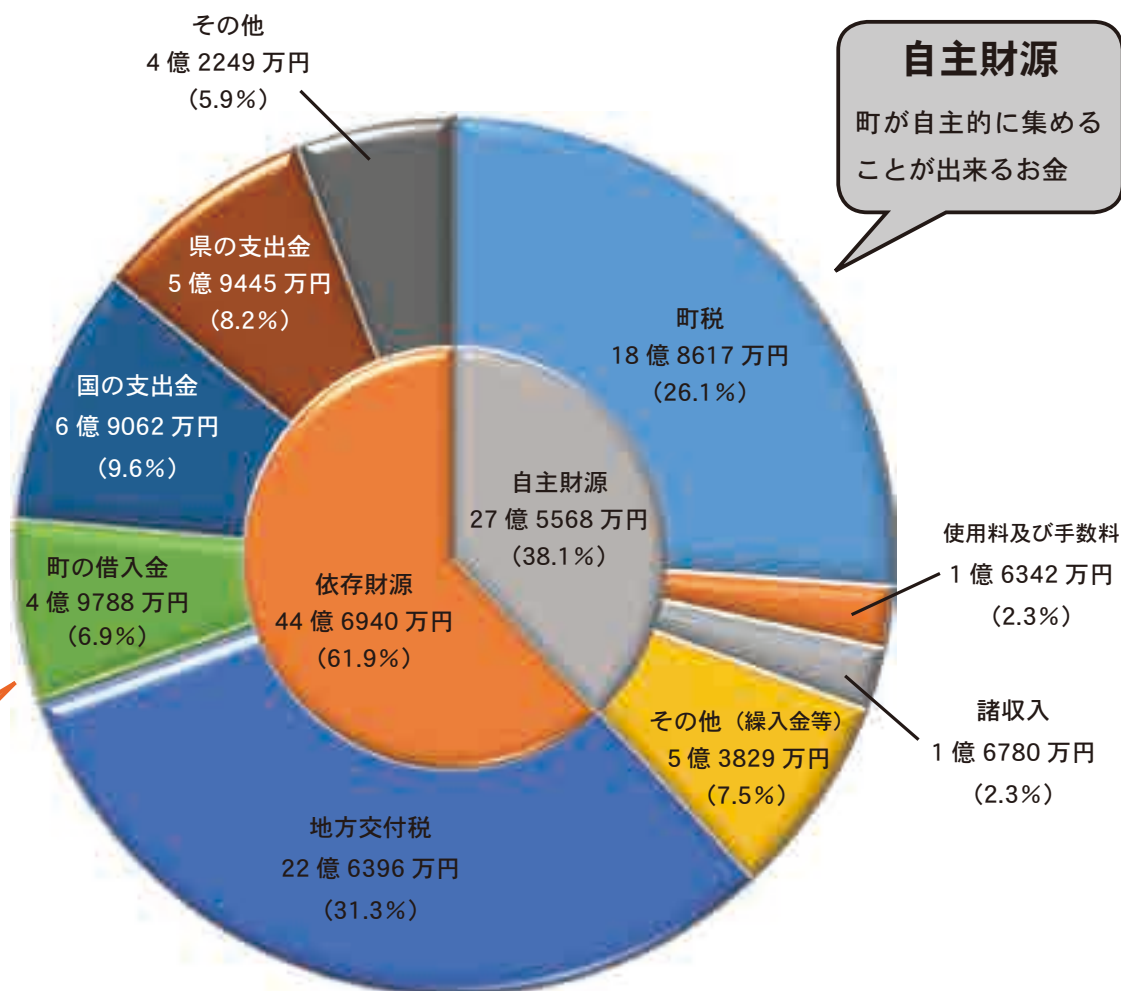
概要

平成30年9月定例会が9月26日から10月11日までの16日間の会期で開かれました。
議会では平成29年度の各会計決算認定、条例の制定および一部改正、平成30年度補正予算、人事案件並びに請負契約の締結など町長から提案された25議案を審議しました。

一般会計 歳入 72億2508万円

歳入は、前年度と比較すると1億8421万円、率にして2.6%の増となりました。

主な要因としては、地方交付税が3.2%の減、国庫支出金が12.9%の減などがあるものの、町税で固定資産税のうち償却資産が伸びたことなどにより3.1%の増、繰入金で庁舎等の建替え財源などを確保するため財政調整基金から取崩しによる507.1%の増などがあったことによるものです。



自主財源

町が自主的に集める
ことが出来るお金

依存財源

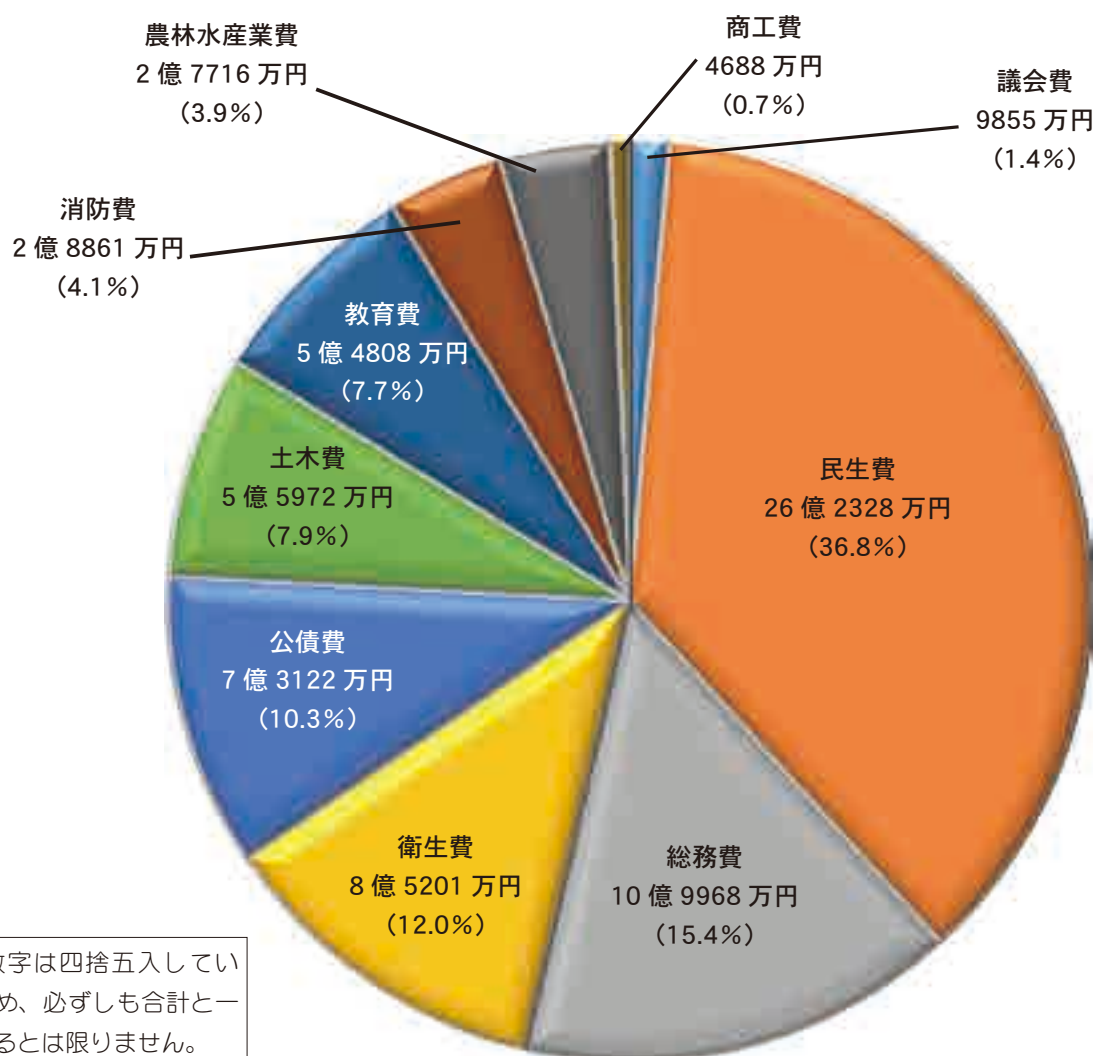
国や県から交
付されるお金
や借金など

平成 29 年度決算を

一般会計 歳出 71 億 2520 万円

歳出は、前年度と比較して 1 億 7 8 5 4 万円、率にして 2.6%の増となりました。

主な要因として、総務費で庁舎等建設に係る基本計画策定業務や建替え財源を確保するための積立金などにより 13.8%の増、民生費で障害福祉サービス費で 2.2%の増、農林水産業費で畜産・酪農収益力強化整備等対策事業で 38.1%の増および公債費 5.0%の増などによるものです。



会 計 名		歳入額	歳出額	議決結果
一 般 会 計		72億2508万円	71億2520万円	賛成9・反対3で可決
特 別 会 計	国民健康保険事業	24億 905万円	23億3477万円	賛成9・反対3で可決
	かんがい施設維持管理運営費	3710万円	3710万円	全員賛成で可決
	後期高齢者医療	2億5127万円	2億4969万円	全員賛成で可決
	住宅新築資金等	68万円	68万円	賛成9・反対3で可決
	流域関連公共下水道事業	8億2107万円	8億2098万円	全員賛成で可決
	谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費	856万円	856万円	全員賛成で可決
	地方独立行政法人くらて病院貸付金等	2億3928万円	2億3928万円	全員賛成で可決
水道事業会計	収益的収支	3億2186万円	3億2003万円	全員賛成で可決
	資本的収支	1246万円	1億2457万円	

今後も経費の削減に努められたい

本年度の決算の収支状況は、一般会計の実質収支額9621万円及び実質単年度収支額2億1314万円と、ともに赤字となっている。

また、特別会計を含めた総決算では実質収支額は1億7217万円の赤字で、実質単年度収支額は2710万円の赤字である。

一般会計歳入予算の執行状況は、前年度に比べ1億8421万円（2・62％）増額となっている。前年度対比でみると、自主財源2億9128万円（11・82％）増、依存財源1億707万円（2・34％）減である。自主財源の大半を占めている町税は5641万円（3・08％）の増となっている。公平負担の原則のもと町

税等の収納率向上を図る

など自主財源の確保に努められたい。一方歳出予算の執行状況は、前年度と比べ1億7854千円（2・57％）増額となっている。これを性質別に

前年度と比べると義務的経費4・38％増、投資的経費8・90％減、その他の経費は2・22％増であり、本年度は歳出総額の

44・15％（前年度43・39％）が義務的経費である。今後においても経費の削減に努められたい。

なお、今年度の歳出執行において節内流用が多みられる。地方財政小事典においては、目節の流用については、目節が予算執行のために設けられたいいわゆる執行科目でもあり流用については特に制限は規定されていない。



い。しかし、流用をみだりに行うことは適正ではないので、地方公共団体の財務規則等に規定し適正に図ることが望ましいと記載されていることから、適正に処理されたい。

町税滞納額

約7627万円

町税の現年度分と滞納繰越分を合算した収入率は町民税95・62％、固定資産税95・48％、軽自動車税89・14％となっている。

全体では、95・70％で前年度に比べ1・29ポイント上回っていることから、徴収努力をされていることがわかります。

町税は自主財源の根幹をなすものであり、税負担の公平性の観点からも収入未済額解消のため、収納率の向上により一層努められるよう望みます。

町営住宅家賃収入は年々未収額が増えていきます。滞納者対策として、長期および悪質な滞納者に対し民事調停提訴の実施など厳しい徴収姿勢を示し、滞納額の縮減に最大限の努力を払われるよう望みます。

● 税目別の滞納額

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
町民税	4,866万円	4,211万円	3,196万円
固定資産税	5,291万円	4,637万円	3,910万円
軽自動車税	540万円	573万円	521万円
合計	1億697万円	9,421万円	7,627万円

● その他の滞納額

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
町営住宅家賃	1,476万円	1,701万円	1,921万円
保育料	894万円	816万円	581万円
国保税	1億305万円	1億5万円	8,346万円
住宅新築資金等	2,353万円	2,298万円	2,229万円

保育料については、収入率が前年度に比べ現年分で1・78ポイント、滞納繰越で22・05ポイント増加していることから、徴収努力をされていることがわかります。

国保税の収入率は前年度に比べ現年度分で0・91％増、滞納繰越分で6・01％増となっています。収入未済額は前年度に比べ1,671万円減少しています。

住宅新築資金等の貸付金回収未済額は前年度に比べ68万円減少しています。未収金の回収についてはなお一層努力を要します。

その他の会計

国民健康保険事業 特別会計

歳入の前期高齢者交付金、歳出の後期高齢者支援金等が概算払いであったことから、平成29年度は、平成27年度分の精算により黒字決算となっています。

翌年度以降、精算払いでは赤字となることが予想されるので、国民健康保険税等の収入確保や健康対策など、健康保険事業の安定に努力されることを望みます。

かんがい施設維持管理 運営費特別会計

歳入は前年度に比べ財産収入の増加及び繰入金
の増加により1500万
円の増となっており、歳
出の執行率は99・99%
となっています。今後も適
正に運用されるよう要望
します。

後期高齢者医療 特別会計

本町の対象者数は、
2743人で総人口に占
める割合は16・94%とな
っています。実質収支は
159万円の黒字です。
今後も適正に運用される
よう要望します。

住宅新築資金等 特別会計

現在、償還業務のみと
なっています。

貸付金回収金未済額は
2229万円で、前年度
に比べ68万2千円減少し
ていますが、未収金の回
収について、一層の努力
を望みます。

流域関連公共下水道 事業特別会計

下水道処理人口普及率
は49・1%となっていま
す。実質収支額は9万円
の黒字となっています。

今後も事業の推進につ
いては、効率的に進めるこ
とを要望します。

谷山池パイプライン水利施設 維持管理運営費特別会計

実質収支額は5千円の
黒字となっています。今
後も適正に運用されるよ
う要望します。

地方独立行政法人くらて 病院貸付金等特別会計

実質収支額はありませ
ん。今後も適正に運用さ
れるよう要望します。

水道事業会計

純収益は、前年度に比
べ597万円減少し34
03万円の純損失となっ
ています。
限られた財政状況のも
とで、住民生活に負担が
かからないよう効果的な
事業の実施を望みます。

● 町民一人当たりの税負担額

町民税



4万7336円

固定資産税



5万6738円

軽自動車税



3025円

たばこ税



9195円

1人当たり
約**44万円**
使いました。
町民一人当たりの金額は、
平成30年3月31日現在の
総人口1万6219人から
算出しました。

● 町民一人当たりの予算の使いみち

議会費
議会の運営



6074円

民生費
生活福祉の充実



16万1741円

総務費
町役場の運営



6万7802円

衛生費
保健衛生と環境保全



5万2532円

公債費
借入金の返済



4万5084円

土木費
土木建設



3万4510円

教育費
教育と文化



3万3793円

消防費
消防救急活動



1万7795円

農林水産業費
農業の振興



1万7089円

商工費
商工業・観光の振興



2890円

平成30年度一般会計補正予算

1億9610万円を追加

本補正予算の主なものは、総務費において小牧墓所移転造成工事費を追加するほか、三菱マテリアル株式会社が鞍手町内に所有する土地を譲り受けるための土地購入費を計上しているほか、民生費においては、国民健康保険特別会計繰出金を追加し、平成29年度分の障害福祉サービス費に係る国庫支出金の返還金の計上および公立保育所の送迎バスを購入するための備品購入費の追加を行っています。また、教育費では鞍手中学校の部活動に係る各種大会出場費補助金を追加するほか、小牧墓所にエアコンを設置するための設計委託料の計上および小学校のブロッツ塀の改修工事費の追加などを行っています。

主な質疑

小牧墓所移転造成
工事費について

現在ある51基の全てを同じ場所に移転するのか。

総務課長 移転される基数は38基です。また、納骨堂へ移転を希望されている方が11基、撤去を希望されている方が1基、他の霊園に移転を希望されている方が1基となっています。

公立保育所送迎バス
購入について

保育所の送迎バスを購入することのこのだが、いつから開始し、どここの地域を回るのか。

福祉人権課長 31年3月から運行検証を行います。地域は西川第1保育所が閉園となるので、そこに通われている園児が対象となります。

小学校のエアコン
設置について

普通教室と図書室にエアコンを設置することのこのだが、小学校は災害時の避難所になつており、教室は2階以上にあるため、要支援者等の避難が難しいと考えられる。体育館にもエアコンの設置をするべきではないのか。

町長 まずは、学ぶための環境を整えることを優先させていただきます。

酷暑対策だけではなく、冬の寒さ対策も行っていただきたい。

町長 臨時国会の中で予算計上されるのではとの情報もあります。早急にエアコンを設置し、冬の寒さ対策も併せて考えています。

福祉人権課長 予定として月に500円の費用負担を考えています。

総務課長 移転先を造成する工事費となります。

町長 臨時国会の中で予算計上されるのではとの情報もあります。早急にエアコンを設置し、冬の寒さ対策も併せて考えています。

その他の議案

▲全員賛成で可決

○ 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

○ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○ 平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算

○ 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算

○ 平成30年度流域関連公共下水道事業特別会計補正予算

○ 財産の取得

▲全員賛成で認定

○ 専決処分の承認（平成30年度一般会計補正予算第2号）

○ 専決処分の承認（平成30年度一般会計補正予算第3号）

○ 専決処分の承認（平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算）

▲全員賛成で採択

○ 福岡県介護保険広域連合の処理する事務の変更及び福岡県介護保険広域連合規約の変更

※質疑の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。

会議録は、鞍手町ホームページや議会事務局で閲覧できます。

尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますのでご了承ください。

教育委員会委員の任命

教育委員 野中眞知氏の任期が平成30年10月6日をもって満了することに伴い、同氏を再度任命することについて、全員賛成で同意しました。



野中眞知氏

平成30年10月7日

任期

平成34年10月6日

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員 加留部君子氏の任期が平成30年12月31日をもって満了することに伴い、再任候補者として推薦すること、全員賛成で同意しました。



加留部君子氏

平成31年1月1日

任期

平成33年12月31日

請負契約の締結

流域関連公共下水道事業

◆古月処理分区管渠築造

工事(第43工区)

(全員賛成で同意)

◆古月処理分区管渠築造

工事(第44工区)

(全員賛成で同意)

◆古月処理分区管渠築造

工事(第45工区)

(全員賛成で同意)

【契約の相手方】

金村・前田共同企業体
共同企業体代表者
(有) 金村組
代表取締役
金村 竜一

【契約の相手方】

松原・安田共同企業体
共同企業体代表者
(株) 松原土木
代表取締役
松原 龍成

【契約の相手方】

昌栄・九軌共同企業体
共同企業体代表者
昌栄建設(株)
代表取締役
南野準二郎

【工期】 136日間

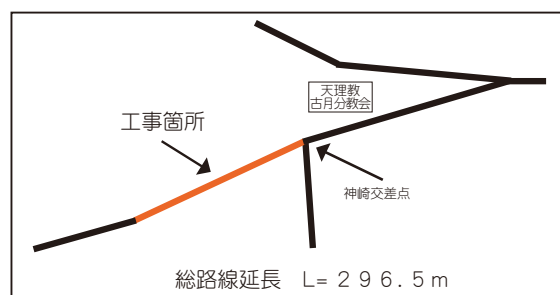
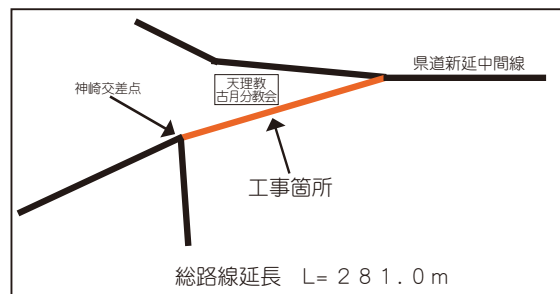
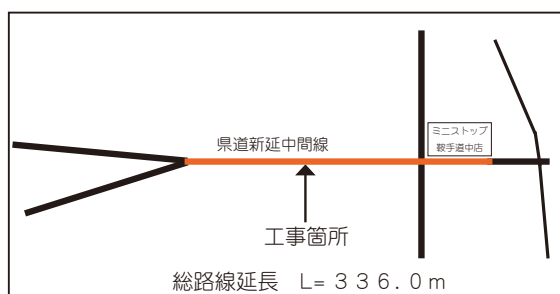
平成30年10月16日から
平成31年2月28日まで

【工期】 136日間

平成30年10月16日から
平成31年2月28日まで

【工期】 136日間

平成30年10月16日から
平成31年2月28日まで



陳情

「臓器移植の環境整備を求める意見書の採択」を求める陳情

賛成多数で陳情1件が採択となりました。

●提出者

福岡市東区箱崎4丁目5-15・1F
移植ツーリズムを考える会九州事務局
担当 寺崎 太

※グリーンリボン



グリーンリボンは、世界的な移植医療のシンボルマークです。

成長と新しい命を意味するグリーンで、ギフト・オブ・ライフ(いのちの贈り物)によって結ばれたドナーとレシピエントの命のつながりを表現しています。

行 政 報 告

鞍手町小・中学校等 ブロック塀の状況について

本年6月18日に発生しました大阪府北部を震源とした地震により、大阪府高槻市立寿栄小学校において、プールのブロック塀が倒壊し、その塀によって女子児童が亡くなるという事故が発生しました。

鞍手町教育委員会は、この地震を機に、6月下旬から7月下旬にかけて町内の全小学校6校と中学校及び豊翔館高校を対象にブロック塀の安全確認のため緊急調査を行いました。

建築基準法の基準では、ブロック塀の高さは1.2m以下とする 것과、長さにおいては4m以下ごとに壁面からその部分における壁の厚さの1.5倍以上突出した控壁を設けることになっていました。

調査の結果、古月小学校の校舎北側のブロック塀が、高さが1.6、2m、長さが50mあり、ブロック塀の高さと控壁の基準が不適合であることが確認されました。

また、新延小学校においても校舎の北側と南側のブロック塀が、高さは1.1・2mで基準の範

囲内であるものの、いずれも道路側にある擁壁の上部に設置されており、安全性に問題があることが確認され、控壁についても基準に不適合であることが確認されました。そのため、児童や地域の方々の安全を確保するため、改修工事を行う必要がありますので、本議会におきまして、鞍手町一般会計補正予算第4号で、関連予算10、400千円を計上させて頂いております。



▲古月小学校北側のブロック塀

「平成30年7月豪雨」における 鞍手町の状況について

7月5日午後12時頃から降り始めた雨は、7月7日未明まで降り続き、7月6日午前8時から9時までの1時間雨量は40ミリを記録、3日間の総雨量は280ミリに達するなど、平成15年以来の大雨を記録しました。

この状況に対する鞍手町の対応につきましては、5日午後5時30分、気象台の大雨警報発令に合わせ、職員11人体制の設置し、職員11人体制の第1配備をとりました。

同日午後8時30分には、避難準備・高齢者等避難開始を発令すると同時に、中央公民館に自主避難所を開設、翌6日午前7時には町内に道路冠水等が出始めたため、災害警戒本部を災害対策本部に切り替え、職員41人体制の第2配備をとりました。これと同時に避難勧告を発令し、総合福祉センター、古月小学校に避難所を開設しました。

同日午後5時10分、気象台の大雨特別警報発令に伴い、午後5時15分、鞍手町では初めてとなる避難指示の発令、同時に全職員体制となる第3配備に引き上げ、町内11箇

所の避難所を開設しました。

その後、気象台の情報を踏まえ災害等の発生する危険性が低くなったことから、7日午前7時に避難指示を自主避難勧告にまで引き下げ、午前8時12分に気象台の大雨特別警報が解除されたことから、町は午前9時に自主避難勧告を解除しております。

避難状況につきましては、中央公民館を中心に、各避難所合計で305人の方が避難されました。避難者への対応は、町の備蓄等で行いましたが、避難者の増加が予想されましたので、自衛隊飯塚駐屯地に依頼し、毛布100枚の貸し出しを受けております。

また、浸水地域において救出を求められた高齢者等につきましては、広域消防と連携し、ボートを出して救出活動を行っております。

次に、被害状況としましては、道路の冠水が、西川、六田川、新川の増水により宮田遠賀線や直方鞍手線など約10箇所発生し、町職員及び消防団で通行止めや迂回措置

をとりました。この道路の冠水に伴って、中山上新橋区、中本町区を中心に床上浸水1戸、床下浸水64戸の浸水被害も発生しましたが、浸水地域における、床下等の消毒につきましては、業者に委託し、9日と10日の2日間で実施しております。

また、法面崩壊等も大小合わせ町内全域で多数発生し、確認できた42箇所のうち、34箇所については町で復旧等行なっております。なお、中山団地2号線の法面崩壊箇所においては災害復旧事業等にて復旧することとしております。

近年の異常気象等に対応できるよう、町としましては、消防、警察、自主防災組織等との連携を更に強化し、今後住民の生命、財産を守るための取り組みを進めていきます。

なお、今回の災害の経費として、専決処分の承認（一般会計補正予算第2号）をこの9月議会に提案させて頂いております。

また、幸いにも8月に北部九州に接近した台風による被害の報告は特に受けておりません。

知 り た い い と 望 む い と

5人が 一般質問

1. うたがわ あきら 宇田川 亮 議員・・・・・・・・・・10
・前町長が逮捕された事件について
2. さいとう のりこ 西 藤 典 子 議員・・・・・・・・・・11
・コミュニティバスについて
・県教育委員会の「教職員の働き方改革取組指針」の概要と町教育委員会の対応について
3. たけうち りいち 竹 内 利 一 議員・・・・・・・・・・12
・くらて病院について
・庁舎について
4. あじさか しょうじ 鯨 坂 省 治 議員・・・・・・・・・・13
・待機児童対策について
・小学校の環境改善について
5. すやま ゆきお 須山由紀生 議員・・・・・・・・・・14
・障害者雇用促進法について



一般質問とは、町長から提出された議案以外に、行政に対する疑問点について質問することです。

一般質問の内容、答弁は質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。

質問の全文は、鞍手町ホームページや議会事務局で会議録を閲覧できます。
※尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承下さい。



前町長が起こした事件の 真相究明と再発防止は？



宇田川 亮 議員

町長 原因を究明し、再発防止策を検討

町長

この間、県警や検察による

問 前町長は、7月9日、官製談合防止法違反と公契約関係競争入札妨害により逮捕された。

さらに、病院人事に不当に介入し、理事に据えようとした人物達と、業者から受け取ったお金を町長室で分けるなど、信じられない事件も起こしていた。

まさに前町長の就任期間の半分以上も町民を騙し続けたことになるが、町として真相究明を図っていく考えは。

問 真相究明し、原因や問題点をあきらかにした上で再発防止策

町長

原因の究明も精査していく必要があると思います。

問 司法の手に委ねるだけでなく、独断専行が原因だという内容も含めて、町としても真相を究明していくべきでは。

また、この事件の最大の要因は、前町長の独断専行による町政運営にあったと考えています。

家宅捜索、事情徴収に時間外、休日問わず職員を派遣し、真相究明に向け全面的に協力してきました。

今後は、司法の手により真相が明らかにされていくこととなりますので、町として捜査協力を継続しつつ、動向を見守りたいと思います。

を考えていくべきだと思います。

町長

再発防止策については、町長就任後も直ぐに担当者に指示し、県及び近隣自治体の制度の調査も開始をしています。加えて、県の市町村支援課に行き、バックアップして

もらつよう要請しています。

今後、慣例でも運用と執行権限者の独断による変更についての対応を検討しているところです。

問 再発防止策の検討について、中間報告なり、基本姿勢なりを議会に報告していただき

たいし、町内業者の育成という点からの検討も必要だと思うが。

町長

その点も含めて検討するよう指示しています。

▶前町長をめぐる汚職事件等の経緯

平成25年 1月	町長に初当選
平成27年 2月	社会福祉法人関係者から1000万円を受領（受託収賄容疑）。
平成27年 7月	町発注の下水道事業の指名競争入札で、3業者に非公開の最低制限価格を漏えい（官製談合防止法違反容疑など）。
平成29年 1月	無投票再選
平成29年 春	社会福祉法人関係者ら2人をくらで病院の理事に提案。後に病院側の反発により撤回。
平成30年 春	くらで病院への人事介入に反発した内科常勤医師が全員退職。一部入院患者が転院を余儀なくされる。
平成30年 7月	官製談合防止法違反容疑などで逮捕、再逮捕。町長を辞職。
平成30年 8月	加重収賄容疑で再逮捕。
平成30年10月	受託収賄容疑で再逮捕。

- ・官製談合防止法とは 公共事業の発注者である国、地方公共団体、独立行政法人等から、入札者の談合に関与することを防止するシステムを定めた法律。
- ・受託収賄罪とは 公務員が、職務に関する請託を受け、これを了承したうえで賄賂を受取ったり、要求、約束したりした場合に成立する犯罪。
- ・加重収賄罪とは 公務員が職務上不正な行為をしたり、やるべき職務をしなかったりした見返りとして、賄賂を受け取ったり、受け取る約束をした場合に適用される。



西藤 典子 議員



▶利便性の向上が期待されるスマイルバス

問

コミュニティバスの利用者を増やす方策は？

町長

「地域公共交通会議で調査し
具体的方策を検討して行きます」

問 コミュニティバス
運行について、利
用の現状、運賃収入は。

平成29
年度の

地域振興課長

平成29
年度の

総利用者は6万8156人、1日あたり186人。その内、鞍手中学校生徒の利用者は54人。もやいたクシーは総利用者数2213人、1日あたり6人の利用。スマイルバス3路線の平成29年度の運行維持費5

389万2903円に対し、運賃収入は1128万4622円、差引き4260万8281円の欠損。もやいたクシーの運行維持費184万7478円に対し運賃収入は42万2006円で、142万5472円の欠損。国県の補助金及び宮若市からの負担金929万4557円を差引いた実質的な町の負担額は3473万9196円です。

問

宮若線の一部が国庫補助の対象となつた理由は。

地域振興課長

宮若市が平成

29年度から準中心市町村と認定され、地域間交通の補助の対象になつたから

からです。

問

町民の移動手段として利便性を高め、利用者を増やす方策は。

地域振興課長

町民代表や交

通事業学識経験者などで構成される鞍手町地域公共交通会議で、地域公共交通網形成計画の策定に取組んでいますので、そこで検討します。

問

スクールの導入は。

地域振興課長

交通網形成計

画の策定の中で導入の方
向も考えられます。

問

「教職員の働き方改革取組指針」の概要と町教育委員会への対応について

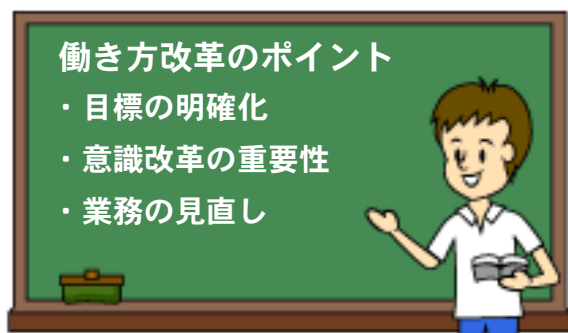
要と評価は。

教育長

教職員の長時間勤務を改善

し、教職員のワークライフバランスのとれた生活を実現して、健康でやりがいを持って働くことが出来る環境を整備すること、教職員が子どもと向き合う時間を十分に確保し、学校教育の質を維持向上させることとし、教職員の意識改革、業務改革の推進、部活動の負担軽減、教職員の役割の見

▶県教育委員会による働き方改革のポイント



直しと専門スタッフの活用等、具体的な取り組みを行うものです。評価としては、数値目標にとらわれ量的削減のみにならぬよう、必要性和り組みやすさから優先順位をつけ、内容面の改善を行うことが必要だと考えております。

問

くらで病院の今後について

町長

「最終的な報告まで
数日猶予をいただきたい」



竹内 利一 議員

問 くらで病院の建設は今後どのようにされるのか。

町長

河野理事長と
9月10日から

28日まで合計6回ほどお会いしています。また町の執行部、くらで病院の事務局とも合計9回ほど議論を進めています。かなりのところまで議論は進んでいます。
いま最終的な詰め段階にきていますので、あと数日猶予をいただければご報告出来ると考えています。



▶新くらで病院完成予想図（くらで病院ホームページから）

問 現時点で公表するわけにいかないと、いうことでしょうか、結論が出た時点で議会に報告していただきたい。

庁舎について

問 庁舎の建設の今後の予定は。

町長

役場庁舎の建設について

は、業者選定方法を巡り設計関係費用が予算化されなかったということで、鞍手町庁舎等建設基本計画に挙げる平成32年度末への移転建替え完成というスケジュールは大変厳しい状況となっています。

しかしながら、私自身、役場庁舎の建替えについては、必要であるとの認識は持っています。

現、建設基本計画については、当然ながらスケジュールも含めて見直しが必要であると考えています。近々、庁舎建設に関する住民説明会を開催したいと考えています。そして、広く町民の皆様の意見を頂戴して、計画の見直しに盛り込んで行

きたいと思っております。いましばらくお時間をいただきたいと思います。

問

庁舎等建設費として3000万円計上されている。この予算の内容は。

総務課長

小牧墓所の移転について造成事業費を追加するもので、これまで多くの墓石管理者のご協力を得ながら平成30年度末を目処として移転改葬を進めさせていいただいています。現在、この小牧墓所がある文化体育総合施設内の北側用地については、庁舎等の建設候補地ということでこれまで挙がって

いましたが、将来の鞍手町のまちづくりを進めて行く上でも、いろいろな用途が考えられる重要な用地であると考えています。



鯨坂 省治 議員

問

待機児童を解消するための対策は？

町長

「児童と保育士の数のアンバランスを解消し
待機児童の解消に努めたい」

問 現在の待機児童の人数は。

いわゆる私的理由による待機児童が3名います。

福祉人権課長

平成30年9月

1日時点で、保育所への入所申込みを行い、入所に至っていない児童が12名います。この内、3名が特定の保育所への入所を希望しています。希望している保育所以外だと入所出来る状態であるのですが、そこには入所せず待機している児童で、

問

2019年10月からの保育料無償化

によって、今まで親子さんなどが家庭内保育していた方も保育所へと考えるのではないのか。それに伴い、児童が増加することによる待機児童を解消するための対策は。

町長

定員をオーバーして待機

問

保育士の人件費改善の考えは。

町長

平成30年度末で西川第1保育所を、31年度末で剣第1保育所を閉所し、平成32年度からは古月保育所に統合する予定となっております。

問

トイレの洋式化の進捗状況はどのようになっているのか。

町長

9月の補正予算で各小学校の普通教室と図書室のエアコン設置について設計業務委託費を計上しています。早期に各小学校の普通教室と図書室についてはエアコンを設置したいというふうに考えています。

問

小学校に酷暑対策のエアコン設置の考えは。

小学校の環境改善について

います。現在不規則な雇用を行っている臨時、嘱託職員の皆様については、減員をさせていただき、正規職員の比率を増やすように計画をしております。

町長

今年度は古月小学校のトイレの便器の破損に伴い洋式トイレに改修する予定です。今後は現在あるトイレが破損した場合、その都度洋式トイレに改修をしたいと考えております。

	教室の種類	保有室数	設置率 (H26調査)	
			うち設置室数	うち未設置室数
全国	普通教室	388,776	193,003	195,773
	特別教室	431,756	149,264	282,492
	合計	820,532	342,267	478,265
福岡県	普通教室	16,691	10,939	5,752
	特別教室	13,551	4,904	8,647
	合計	30,242	15,843	14,399

▶全国と福岡県の小中学校エアコン設置率の比較

問

障がい者の雇用や
差別解消についての町長の考えは？

町長

「自立と社会参加を実現していく
町づくりを目指したい」



須山由紀生 議員

問

現在中央省庁では雇用する障がい者数の水増しが非常に問題

福祉人権課長 厚生労働省の29年6月の集計結果では、民間企業の雇用状況は都道府県ごとに公表されていますが、市町村ごとには公表されていません。そのため、鞍手町の状況は把握出来ていません。

問

障がい者を雇用しなければならないと義務づけられている町内企業は、また、その雇用率は。

問

今後、身体的な障がいの方だけでなく知的に障がいのある方

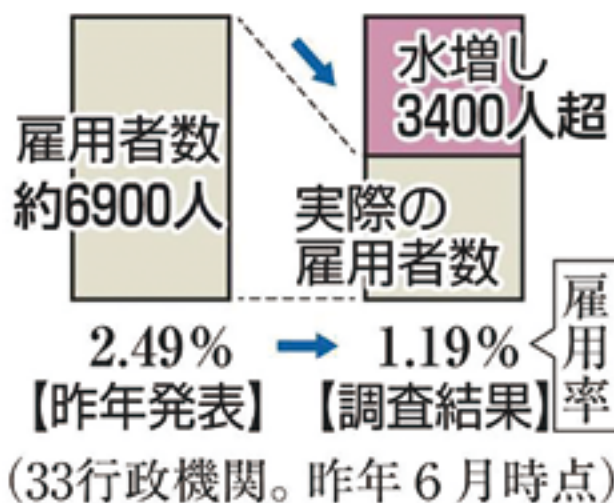
総務課長 「障害者雇用推進者」の専任は。障がい者の雇用の促進と継続を図るための「障害者雇用推進者」の専任は。障がい者の雇用の促進と継続を図るための「障害者雇用推進者」の専任は。

問

本庁での雇用人数は3名。雇用率は2・45%です。なお、障がいの内容につきましては、心臓機能障がい者1名、肢体不自由者2名となっています。

になっている。そういったなか企業の法定雇用率引き上げと同様、国や地方公共団体も平成30年4月1日以降、現行2・3%から2・5%に引き上げられている。本庁の障がい者の雇用人数と雇用率は。

国の障害者雇用の水増し



町長

知的、又は精神に障がいのある方達を雇用する意志は。や、発達障がいを含む精神障がいのある方達を雇用する意志は。

問

障がいのある方でも、健常者と同じように働きたいという就業意欲は同じだ。ハンディキャップがあるために就労する場所や条件が合わないなどの環境整備が整っていないため雇用する側が一步構えてしまう傾向がある。

町長

地方公共団体の責務として積極的に雇用するということとは当然のことでもあります。新しい庁舎が出来たおりにそういったことも検討して、障がい者の方の雇用を考えたい。

他の自治体に先駆けて障がい者が平等に安心して安全に就労出来る体制づくりに努め、新庁舎建設計画の中にも取り入れるべきでは。

第8回臨時会

議長選挙を行う

議長に田中二三輝氏

8月20日、星 正彦前議長が町長選出馬のため結果、田中二三輝議員を辞職されましたので、9月3日に第8回臨時会を
選出しました。



たなか ふ み き
田中 二三輝氏(57歳)

住 所 中山3300番地3
当選回数 4回

前議長の辞職により、今回、各議員のご推挙によりまして、議長の要職に就任いたしました。

現在、鞍手町は汚職事件により前町長が逮捕されるといふ、あつてはならない事態により行政並びに議会に対する町民からの信用は失墜された状況であります。

議会は、早期に解明できなかったことを深く反省し、「三元代表制」の根本を深く認識し、町民の負託にこたえるために絶えず町民目線でその任に専念すべく誠心誠意努力してまいります。

2人の議員が当選

9月9日に行われた町議会議員補欠選挙で2人の議員が当選されましたのでご紹介します。

のぐち みえこ
野口美恵子 議員



さいとう のりこ
西藤典子 議員



- | | | |
|---|-------|------------|
| ① | 年 齢 | 61歳 |
| ② | 住 所 | 小牧2333番地74 |
| ③ | 職 業 | 無職 |
| ④ | 所属委員会 | 総務文教委員会 |
| ⑤ | 抱 負 | |

この度は、皆様方の大きな支援を得て町議会に送り出していただきまして。現状、鞍手町が抱える問題は、財政の逼迫、少子高齢化に伴う人口の減少、くらて病院等山積しています。新人一年生ではありますが、町民の声を町政に反映すべく尽力する所存でございます。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

- | | | |
|---|-------|-----------|
| ① | 年 齢 | 75歳 |
| ② | 住 所 | 小牧1461番地7 |
| ③ | 職 業 | 無職 |
| ④ | 所属委員会 | 民生産業委員会 |
| ⑤ | 抱 負 | |

日本共産党町議団が行った「町民アンケート」に皆さんから寄せられた不正を許さず町民に開かれた鞍手町政実現への願い、地域医療を守る拠点としてのくらて病院の民主的な立て直しを求める声、また、日々の暮らしに直結する切実で様々なご要望を胸に刻み、それらすべての前提となる平和の実現と共に、微力ではございますが努力を続けてまいります決意です。

表紙の紹介

十六神社のクスノキ



八尋の十六神社にあるクスノキは、町内最古の木であり、数百年にわたって人々の暮らしや地域の歴史を見守ってきました。

幹回りは15m85cm、高さは21mで、枝が約21m四方に広がっています。根元には3～4mの大きな空洞があります。樹齢は大きさから約500年と推定されており、室町時代からこの地域の歴史を見守り続けてきた巨木です。

町では、自然保護とその意識を高めるため昭和56年にクスノキを町の木に指定し、育成に努めています。

十六神社 鞍手町大字八尋489番地

議会を傍聴しませんか（次回は、12月議会です。）

議会はだれでも一般質問・議案質疑を傍聴できます。受付は、当日に議会事務局で行います。

また一般質問を傍聴する方の希望に応じ、手話通訳者を派遣しています（無料）。これには事前予約が必要です。

■問い合わせ 議会事務局 ☎42局2111番（内線331）

編集後記

6月議会後、前町長の逮捕、辞職、新町長を選ぶ選挙と鞍手町にとって激動の3ヶ月間でした。

住民の皆様には大変なご迷惑とご心配をおかけし町民の皆様を始め関係各位の皆様にも多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことに、深くお詫びを申し上げます。

さて現編集委員も残すところ後2回となりましたが、町民の皆様に分かりやすい「議会だより」になるよう心がけていきますので、ご愛読宜しくお願いいたします。

（竹内 利一）

発行責任者

議会議長 田中 二三輝

編集スタッフ

委員長 須山 由紀生

副委員長 竹内 利一

委員 鰐坂 省治

委員 熊井 照明

委員 須藤 信一郎

委員 須藤 敏夫